

常設プログラムの考え方

基本的な考え方

- ・ 展覧会会場へ入る前の導入として、近江の文化財や風土、美しい風景等を実物映像やCGなどを活用して放映し、展覧会への高揚感を高めるプログラムを基本とする。
- ・ なお、上記プログラム以外に導入展示室では、展覧会に合わせたパネル展示や、劣化の恐れのない実物を展示することも想定する（県が行う学芸業務において制作・展示）。

必須事項

- ・ 館内上映用に、春夏秋冬にあわせるなど、全4番組制作し、上映すること。
- ・ 対外発信用に、上記の全4番組をまとめた1番組を制作すること。
- ・ 館内上映用番組は、年4回程度映像の切り替えを行うこと。
- ・ 1番組あたりの時間は、3～5分程度とすること。
- ・ 文化財や風景の動画は事業者により新規で撮影するものとすること。
- ・ 映像、音響は展示室に影響の少ないものとすること。
- ・ 館内上映用番組は、2か国語（日本語、英語）に対応するほか、無音声・無字幕版も制作すること。
- ・ 対外発信用番組は、4か国語（日本語、英語、中国語、韓国語）に対応すること。
- ・ 詳細については、県と事業者で協議の上決定すること。